

城西中学校の誕生について



昭和22（1947）年4月，徳島市に設置された9校の
新制中学校の一つとして産声を上げました。

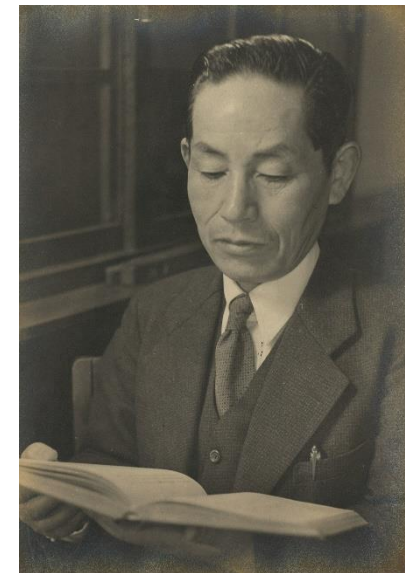
昭和22年5月3日に開校式（入学式）を挙行。

開校時の生徒数は加茂地区・佐古地区・他を含めて11学級（3年1学級/2年3学級/
1年7学級）合計546名からのスタートでした。

校舎は佐古小学校の一部を使用して授業を行い，校名も「徳島市佐古中学校」と
されました。戦後間もない当時，出席率は（男95.3%女96.7%計96.0%）でした。

初代校長は，宮本村雄（むらお）先生。

13名の教諭が指導にあたりました。終戦後の校舎もなく教具も何もない状態から，
地域の市民に寄付を募って少しずつ設備の充実をはかったそうです。



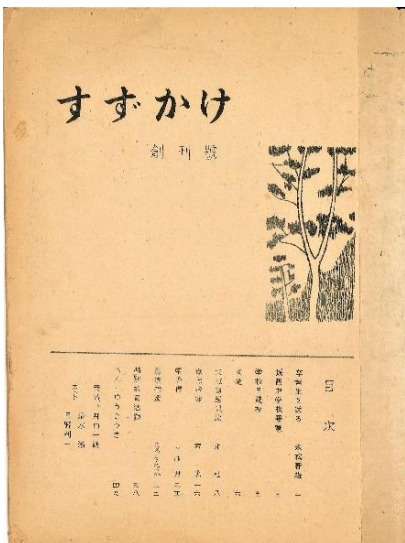
初代学校長：宮本村雄 先生

昭和23（1948）年3月20日に第一回卒業生34名を送り出しました。

3月31日に校名を「徳島市城西中学校」と改称しました。新年度に入ると「父母と
先生の会（現PTA）」が発足して，次第に学校組織体制も整い始め，7月24日
には矢三町高見（現在の校地）に念願の本校校舎（12教室）が完成して，夏の間に
は当時の2・3年生が移転します。

「野中（のなか）の一軒屋（いっけんや）である。門も垣（かき）もないし運
動場は水溜りになる事が多い。」（『すずかけ』創刊号：昭和25（1950）年より）

そしてさらに2年後の二学期末には，生徒数も1183名に増え，校舎建設も24教室ま
で進んで，県内屈指のマンモス校となっていきます。



『すずかけ』創刊号 扉絵